

有害プランクトン情報

(令和7年度 - No10)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターでは、プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、東京湾で有害プランクトンの出現状況調査を行っています。今回は1月の調査結果をお知らせします。

- 調査日 沖合漁場 1月 第1回 内湾 (8地点) 1月14日 内房 (7地点) 1月 9日
 1月 第2回 内湾 (8地点) 1月23日 内房 (7地点) 1月27日
 貝類漁場内 木更津北部地区 1月22日
 富津地区 1月14日

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 ※ シャットネラ属は1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL, カレニア属は100 細胞/mL以上で注意報を発生します。
- 赤潮 (透明度1.5 m以下, pH8.5以上, 酸素飽和度150%以上) は、見られませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・1月14日	(沖合漁場) 富津を除く内湾全域	最高密度は船橋・アクア北・アクア南・盤洲南で0.30細胞/mL
・1月23日	(沖合漁場) 船橋・羽田沖・アクア北・アクア南・富津	最高密度はアクア北で0.60細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・1月14日	(沖合漁場) 富津を除く内湾全域	最高密度は船橋で0.45細胞/mL
・1月23日	(沖合漁場) 羽田沖・アクア北・アクア南	最高密度はアクア南で0.20細胞/mL

3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)**【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
 ○ 赤潮はみられませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

1 麻痺性貝毒原因プランクトン

○ 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

○ 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

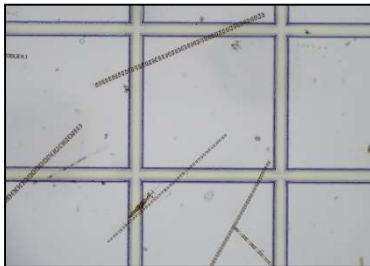
・1月9日	(沖合漁場) 富津南	密度は0.15細胞/mL
-------	------------	--------------

3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

各海域で見られたプランクトンの優占種

1月9日	内房	珪藻	スケルトネマ属
1月14日	内湾	珪藻	レプトシリンダラス属, スケルトネマ属
1月23日	内湾	珪藻	スケルトネマ属, キートセロス属 など
1月27日	内房	珪藻	キートセロス属



スケルトネマ属など
(1月9日 浦賀水道)



レプトシリンダラス属など
(1月14日 富津)

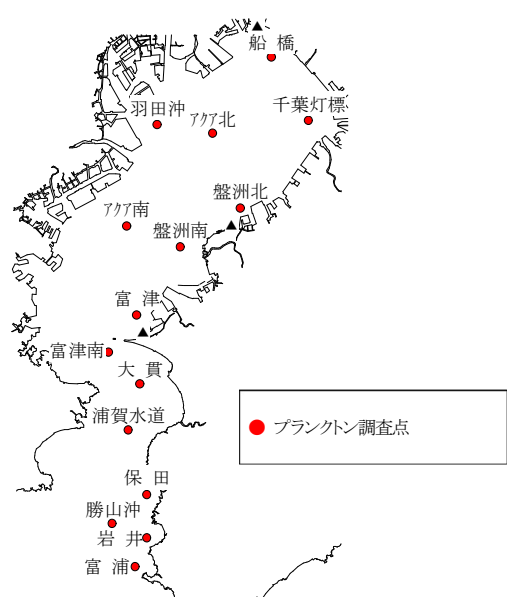


スケルトネマ属など
(1月23日 船橋)



キートセロス属など
(1月27日 大貫)

調査点 (沖合漁場)



調査点 (貝類漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091 TEL 0439-65-3071 E-mail wanken@mz.pref.chiba.lg.jp